

大分大学医学部附属病院の能登半島地震への支援について

令和6年1月1日16時10分頃に発生した能登半島地震は、最大震度7を記録し直後に津波も発生しました。石川県北部では、建物が崩壊、道路が寸断しライフラインが途絶するなどの大きな被害を生じています。大分大学医学部附属病院におきましては、能登半島地震への支援として、JMAT（日本医師会災害医療チーム）やDMAT（災害派遣医療チーム）などのチームを派遣しました。

大分大学JMAT第1班は、1月14日～21日にかけて派遣され、三愛メディカルセンター JMAT隊と合同で、七尾市、輪島市の病院や診療所などの実地調査やスクリーニングを行い、小松市においては1.5次避難所の立ち上げ支援を行いました。被災地の診療所の先生方は、自身が被災しているにもかかわらず、発災直後より診療所や避難所での診療を再開されており、頭の下がる思いであり、また、もっと早く支援を届けることができなかつたのかと考えさせられました。第2班は、2月12日～17日にかけて派遣され、金沢以南の2次避難所の巡回・スクリーニングを行いました。今回の地震では、道路の寸断により被災地へ支援が入りにくく、また、水道の復旧が非常に遅れていることにより、能登北部からの金沢以南への2次避難が推奨され、それに対する支援が課題となっておりましたが、当院のチームはその一助となれたと思います。DMAT隊は、1月28日～2月3日にかけて派遣され、穴水町保健医療福祉調整本部で本部活動を行いました。DMATロジチームとして、1月19日～23日にかけて、医師1名を輪島市保健医療福祉調整本部へ派遣し、福祉施設・搬送調整のリーダーを担当しました。また、薬剤師1名が、日本病院薬剤師会災害ボランティア薬剤師として、2月7日～2月14日の期間、珠洲市総合病院へ支援に入りました。

このように、被災地まで遠距離ではありますが、大分大学医学部附属病院としましては、様々の立場から可能な限りの支援を行って来ました。この経験は、南海トラフ巨大地震が起きた際の大分県での活動に生かせるものと思います。

(文責：災害マネジメント総合支援センター センター長 下村 剛)



能登北部JMAT調整支部 公立穴水総合病院





令和5年度の患者満足度調査結果について

当院では、患者さんの満足度やご意見を把握するために、昨年11月に外来と入院の患者さんを対象に、「患者満足度調査」を実施いたしました。調査にご協力いただきました患者の皆さま並びにご家族の皆さまには厚くお礼申し上げます。以下に、調査結果の概要をご報告いたします。今回の調査で皆さまからいただいた貴重なご意見を全職員で共有し、今後も引き続き患者サービスの質の向上に努めてまいります。

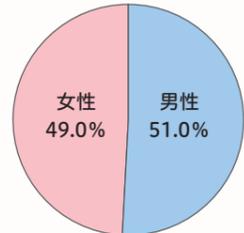
サービス・国際化推進委員会委員長 波多野 豊



外来

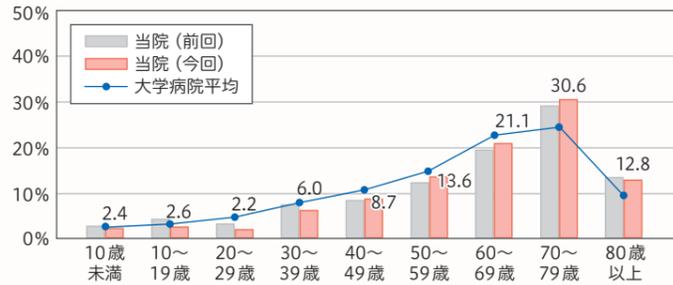
■回答者の性別・年齢

有効回答者数：1433人



前回調査 男性48.7%、女性51.3%
大学病院平均 男性44.4%、女性55.5%

平均年齢 **61.7歳**
前回調査との差 **+1.9歳**
大学病院平均との差 **+3.8歳**
有効回答者数：1433人



■総合評価点

有効回答者数：1211人

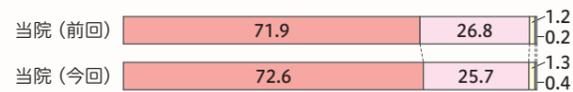
「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

平均評価点 **83.0点**
前回調査との差 **+0.5点**
大学病院平均との差 **+2.2点**

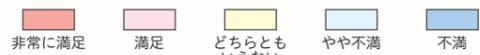
■受診満足度

有効回答者数：1296人

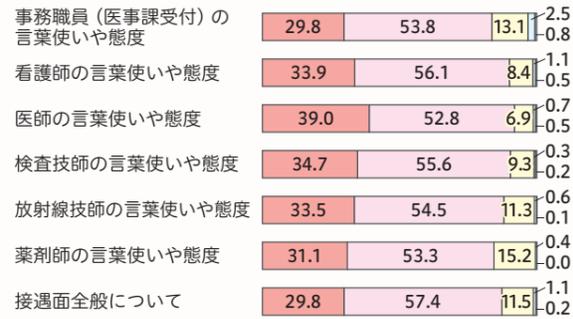
「当院を受診してよかったですか」



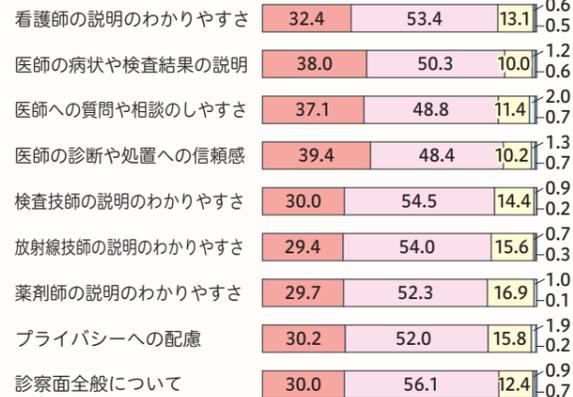
■個別項目の満足度



【接遇面】



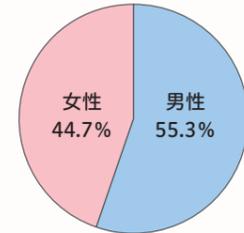
【診察面】



入院

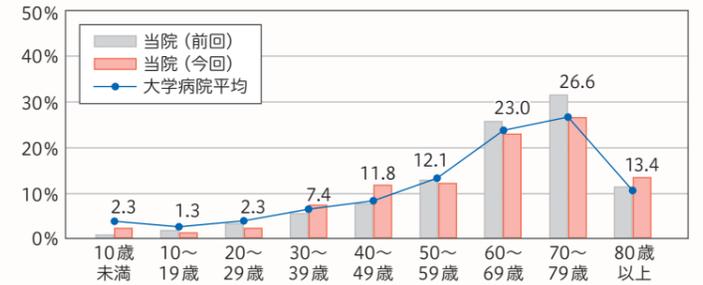
■回答者の性別・年齢

有効回答者数：318人



前回調査 男性52.5%、女性47.5%
大学病院平均 男性52.2%、女性47.8%

平均年齢 **61.4歳**
前回調査との差 **-1.5歳**
大学病院平均との差 **+2.3歳**
有効回答者数：313人



■総合評価点

有効回答者数：325人

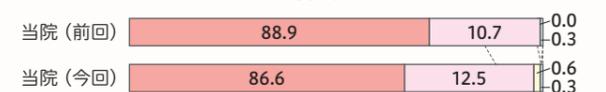
「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

平均評価点 **90.0点**
前回調査との差 **-0.1点**
大学病院平均との差 **+2.9点**

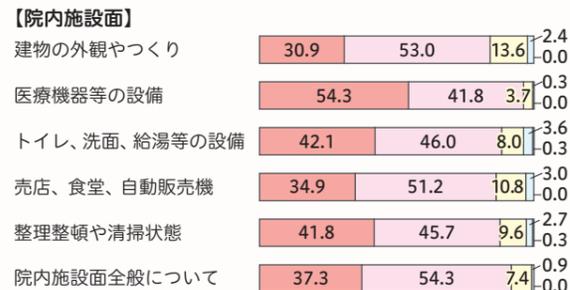
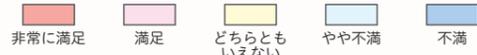
■入院満足度

有効回答者数：318人

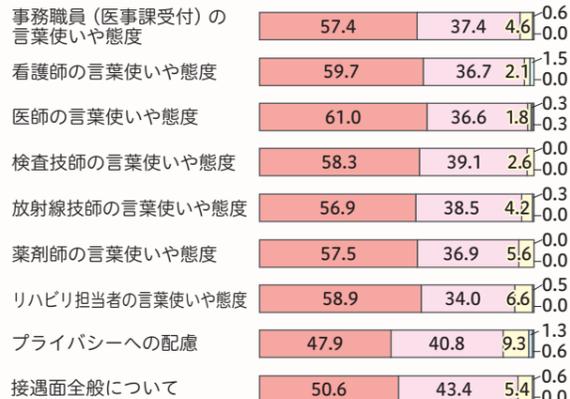
「当院を受診して(入院して)良かったですか」



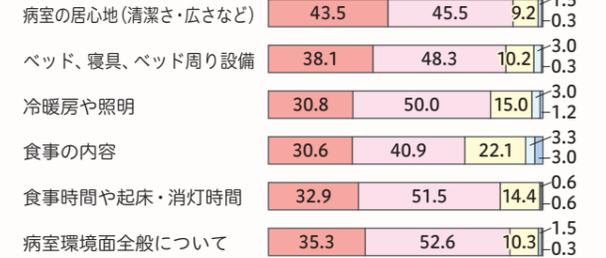
■個別項目の満足度



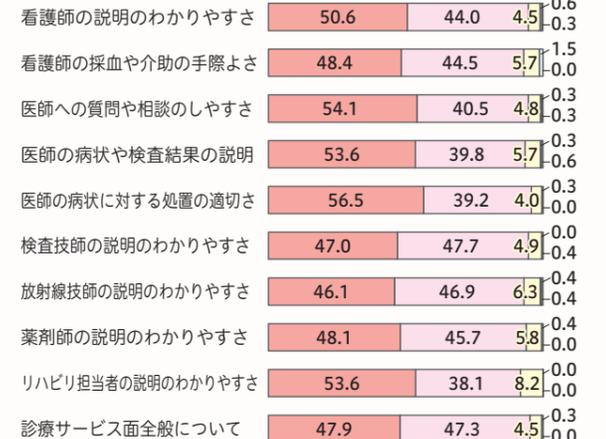
【接遇面】



【病室環境面】



【診療面】



診察や会計の待ち時間負担軽減のための 通院支援アプリを導入！



外来待ち時間の短縮・院内混雑緩和や患者さんの利便性向上のために通院支援アプリを導入いたしました。「wellcne(ウェルコネ)」はご利用のスマホから診察待ち合い状況の確認、診療費のアプリ決済、検査結果等の確認/閲覧が可能となります。4月1日よりサービスを開始しておりますので、通院時のご負担が少しでも軽減されるよう、ぜひご活用ください。

機能一覧

診察待順案内

診察の順番が近くなるとアプリに案内通知が届きます。診察室の前で待つことなく、院内のカフェなどで待つことができます。

アプリ決済(後払い会計)

事前にアプリにクレジットカードを登録しておくことで、会計および計算の順番を待たずにそのままご帰宅できます。

処方箋情報送信

当院から受け取った処方箋をスマホで撮影し、調剤薬局をリストから選んで送信すると、調剤薬局での待ち時間が短縮できます。

医療情報閲覧

当院で受けた検査結果や、いつどんなお薬が処方されたかを確認することができます。

次回受診情報

受診忘れを防ぐための次回受診予約リストが表示され、受診日前日17時にリマインド通知が届きます。



登録方法

- ①アプリストアで「ウェルコネ」と入力するか、右のQRコードを読み込んでアプリをインストール(無料)
- ②アプリ内のナビゲーションに従って入力し、本人確認を行う
受付時間内の場合15分ほどで審査が完了いたします(受付時間:月曜~土曜9:00~18:00)
- ③診察券登録、クレカ登録(任意)に進み、利用開始!
診察券登録は15分ほどで患者様のデータ照合が完了いたします。



※③が完了するまで、サービスがご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

院内のアプリサポートブースにてアプリの登録方法や使い方をサポートいたします！

●運営場所 / 1階外来ホール 1番再診受付左手 ●運営時間 / 平日9:00~15:00

理念

本院は、

「患者本位の最良の医療」を基本理念とする。さらに、豊かな人間性と高い倫理観を備えた医療人を育成し、先端医療の開発と安心・安全な医療の提供をとおして、地域社会の福祉に貢献する。

基本方針

本院は、

- 一、患者本位の医療を実践する。
- 一、医療の質及び安全性の向上に努める。
- 一、医学、医療の発展と地域医療の向上に寄与する。
- 一、教育、研究、研修の充実を図る。
- 一、病院の管理・運営の合理化を推進する。

■この度令和6年1月26日にこどもの患者さんの権利を制定しました。

患者さんの権利

- 個人の尊厳が尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気、検査、治療などについて、十分な説明を受け、理解した後、治療方法などを自らの意思で同意又は拒否を選択することができます。
- 自分の診療記録について、本院の規則に則って情報の提供を求めることができます。
- 診療における個人情報を守られ、プライバシーが最大限尊重されます。
- 教育実習及び研究の協力者となることができます。
- 医療行為の選択にあたっては、他の医療機関を選択することができます。
- 診断や治療方法について、他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
- 身体の不自由な方、外国人の方にも、できる限りの支援をいたします。

こどもの患者さんの権利

この病院で医療（身体と心の健康を守るためのお手伝い）を受けるすべての子どもたちが、当たり前にもっていて、求めることができるもの（権利）をお知らせします。

1. みなさんは、人として大切にされます。
2. みなさんは、一番よいと考えられる医療を受けることができます。
3. みなさんは、安心・安全な場所で医療を受けることができます。
4. みなさんは、大切な人と一緒に医療を受けることができます。
5. みなさんは、自分が受ける医療のことについて、わかりやすく教えてもらうことができます。
6. みなさんは、自分の気持ちを伝えたり、方法を選んだりできます。
7. みなさんは、差別や、身体と心を傷つけられることから守られます。
8. みなさんは、ほかの人に知られたくない秘密は守られます。
9. みなさんは、病院にいても遊んだり、勉強したりすることができます。
10. みなさんは、将来にわたって、身体と心の健康を支えてもらうことができます。

患者さんに守っていただくこと

- 良質な医療を実現するため、医療従事者に対し、患者さん自身の健康の情報を詳しく正確に伝えてください。
- 納得できる医療を受けるために、検査や治療の内容を十分理解し、不明な点については十分質問し、合意の上でお受けください。
- 病院内の敷地内での喫煙は禁止しています。入院患者さんは敷地内・外を問わず禁煙です。
- 飲酒や他の方への迷惑行為は、禁止しています。
- 迷惑行為（暴力、暴言、セクシャルハラスメント、ストーカー行為など）があった場合は、警察に通報することがあります。
- 病院内での許可のない録音・録画・写真撮影は個人情報保護の観点から禁止しています。

- 携帯電話の使用制限をしている場所での使用は、ご遠慮ください。
- 病院内の設備や備品を破損、紛失などの場合は、弁償していただくことがあります。
- 医療費の支払請求を受けた場合は、速やかにお支払いください。
- 盗難防止のため多額の現金や貴重品は、持ち込まないようお願いいたします。
- 原則として電気製品は、持ち込まないようお願いいたします。

※患者さんに守っていただくことに書かれている約束事を万が一お守りいただけない場合には、退院措置を講じさせていただきます。ご了承ください。

あなたの声
を
お待ちしております

良い病院になるために

患者さんの声は、要約して載せておりますので
ご了承ください。

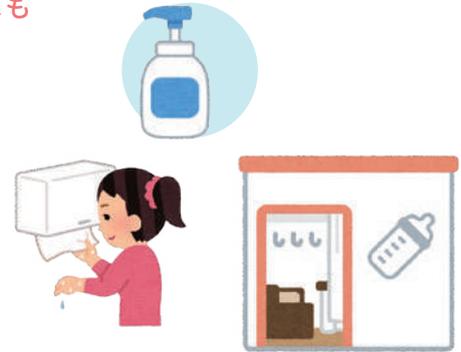


声

授乳室が一つしかないのは大変でした。また、授乳室にも
手洗い用の洗剤等を置いていただけると助かります。

回答

ご不便をおかけして申し訳ありません。
授乳室が使用中の場合、授乳できる別のお部屋を
用意いたしますので、遠慮なく院内スタッフにお声掛
けください。
なお、授乳の際に手洗いが出来るよう、手洗い用洗
剤とペーパータオルを設置いたしました。



声

付き添いベッドの料金が高すぎる。一時退院するとリセットされる。料金システムを見直し
て欲しい。長期入院の付添い者の負担をもっと考えて欲しいです。

回答

患者さんからの声をいただき、付き添い寝具の料金について
見直しを行いました。
30日以内の再契約の場合は、前契約の日数・金額を引き継い
で適用できるようにいたしました。
貴重なご意見をいただきありがとうございました。



＼感謝の声 /

声

大学病院は事務的な対応だと思っていましたが、優しく親身に対応していただき、その言葉が
深く心にしみました。今後ともよろしく願いすると同時に今後のご活躍をお祈りします。

回答

「声」をお寄せいただきありがとうございます。患者さんからいただいた「声」を励みに、病院
スタッフ一同、患者さんに満足していただけるよう努めて参ります。



(文責：病院長)



大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411(代)
大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

これまでの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

